

お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。
お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながる場合があります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。

また、ご自身で調整を行う場合も、本書に従って行ってください。

ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または当社お客様相談室に修理を依頼してください。

お願い

【調整する場合】

商品を調整する際は、電動ドライバーを使用しないでください。
商品の不具合や破損の原因となります。

【水への配慮】

お手入れの際、窓やドアにホースや高圧洗浄機などで勢いよく水をかけないでください。
室内側へ水が入るおそれがあります。

ポスト口に、ホースなどで直接水をかけないでください。
内部の郵便物が濡れるおそれがあります。

【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

お手入れの際、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。
表面に付着すると、変色するおそれがあります。
付着した場合は、すみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

お願い

【アルミ製商品】

表面に汚れがついた場合は、早めに洗い落としてください。
汚れがついたまま放置すると、しみ、腐食、色落ちするおそれがあります。

【スチール製商品】

玄関ドアの鋼板表面を水や中性洗剤でふいても、艶や色あせが改善されない場合は、研磨剤の入っていないワックスを使ってお手入れすることをお勧めします。

※ワックスの一例：植物成分100%のワックス

※ワックスを使用する際は、その用途を確認し、説明書に従ってお手入れしてください。
ドア鋼板に適さないワックスは、変色や汚損の原因となりますので使用しないでください。

【樹脂製商品】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけないでください。
熱源を近づけたり、触れたりすると、変形することがあります。

樹脂表面に、殺虫剤などの薬剤を塗布・散布しないでください。
薬剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

【アクリル・ポリカーボネート板】

商品に有機溶剤を含む、殺虫剤やガラスクリーナーを塗布・散布しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れが発生するおそれがあります。

【ガラス】

お手入れの際は、必ず柔らかい布をご使用ください。
ガラス表面にキズがつくと、割れるおそれがあります。
ガラス表面にキズがついた場合はお早めに、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

【電動商品】

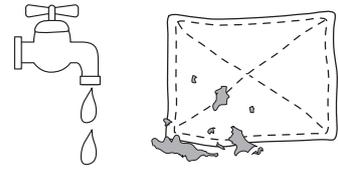
お手入れの際、電装部品に水がかからないようご注意ください。
水がかかると、故障するおそれがあります。
電装部品に不具合が生じた場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

お手入れ方法

■通常のお手入れ（ハンドル・引手含む）

1 表面のホコリ・砂を落とす

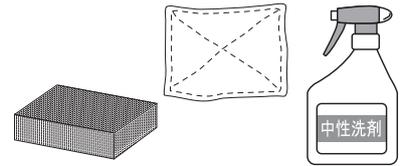
柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



2 水ぶきする

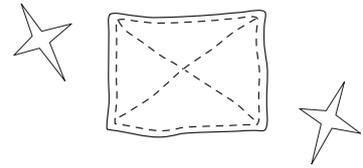
柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3 水分をふき取る

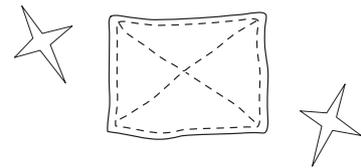
乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



■結露・雨水などがかった場合

1 水分をふき取る

すみやかに乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



下枠・レール

- 下枠やレールは、特に砂、ホコリ、ゴミなどがたまりやすいところです。こまめにお手入れしてください。

■下枠・レールのお手入れ

1 砂やホコリを吸い取る

レールのミゾ内部にたまった砂やホコリを掃除機で吸い取ります。



または、やわらかいブラシで砂やホコリを落とします。



2 汚れをふき取る

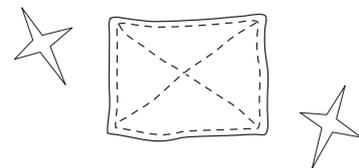
割り箸の先に布を巻き付け、さらに汚れをふき取ります。



■土間引戸の下枠レール間に水がたまった場合

1 水分をふき取る

下枠に水がたまった場合は、乾いた布で水分をふき取ります。



お願い

時間が経つと水は流れていきますが、気になる場合は、ふき取ってください。

ガラス

● ガラスに浮き出る吸盤やラベルの跡について

ガラス表面が曇った時など、製造や施工の際に使用する吸盤の跡や、施工時に貼ってあるラベルの跡が浮き出てくることがあります。

これは、ガラスの機能や性能に影響を及ぼすものではありませんが、通常のクリーニングでは除去できない場合があります。中性洗剤で落とすことが難しい場合は、カー用品店やホームセンターで購入できる「自動車用油膜除去剤」（酸化セリウム配合）で除去できます。

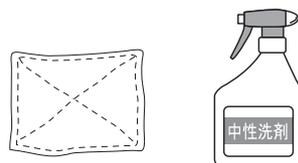
ご使用にあたっては、「油膜除去剤」に添付されている取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

■ ガラスのお手入れ

1

汚れをふき取る

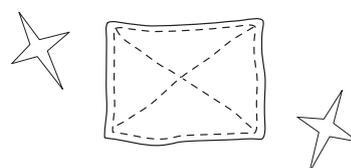
柔らかい布に中性洗剤（1～2%の水溶液）を浸し、汚れをふき取ります。



2

水分をふき取る

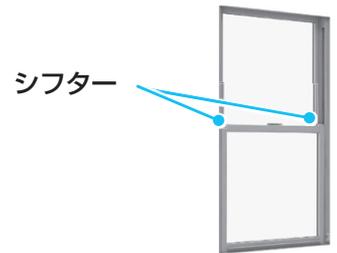
乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



上げ下げ窓

お掃除モードの設定方法

上げ下げ窓の室外側のガラス面を清掃する時には、下窓を内側に倒してふくことができます。ここでは、下窓を内側に倒す方法を説明します。



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

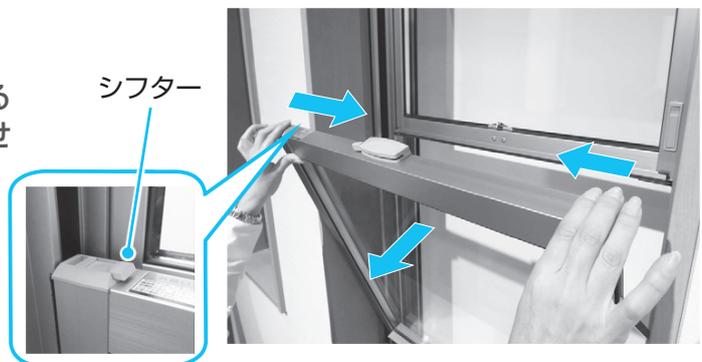
1 窓を開ける

窓を10cm程度開けます。



2 窓を室内側に倒す

下窓を支えながら、両端にあるシフターを内側にスライドさせ窓を静かに室内側に倒します。



⚠️ 注意

- 必ず両手で静かに操作し、無理な力をかけないでください。窓が破損し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

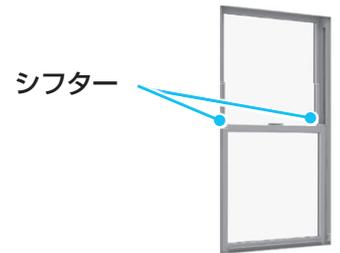
3 ガラス面を清掃する

窓を下まで下げてから、室外側のガラス面を清掃します。

- 必要に応じて、柄の付いた清掃用具などを使用することをお勧めします。



お掃除モードの解除方法



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

⚠️注意

- 内倒した状態（お掃除モード）で放置したり、開閉操作をしたりしないでください。窓にぶつかり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

1 窓を上げる

窓を10cm程度上げます。

⚠️注意

- 必ず10cm程度窓を上げてください。窓を上げた状態でないと、シフターがロックされず、窓が倒れてくるなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



- 必ず両手で静かに操作してください。

2 窓を室外側に押す

窓を静かに起こし、両端にあるシフターから「カチッ」と音がするまで室外側に押します。

※窓を前後と上下に動かし、はずれないことを確認します。

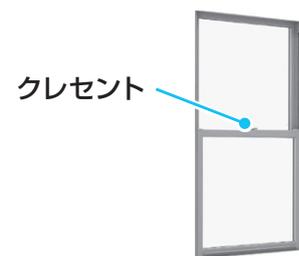
お願い

- お掃除モードを解除する際は、必ず窓の傾きを直してから起こしてください。窓が水平になっていない状態で起こすと、部品が破損するおそれがあります。



クレセントの調整方法

クレセントをロックしても窓がガタついたり、ロックしにくくなった時には、クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない可能性があります。ここでは、クレセント本体の位置を前後に調整する方法を説明します。

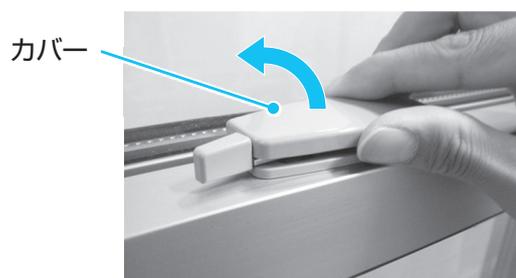


ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

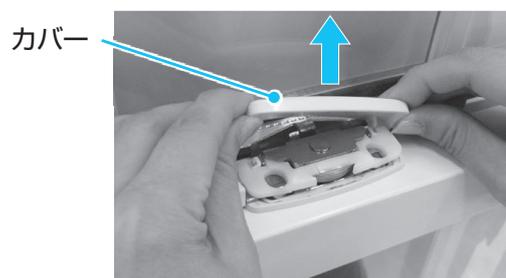
1 カバーを開く

クレセントを解錠し、カバーを手前に引くようにしながら開きます。



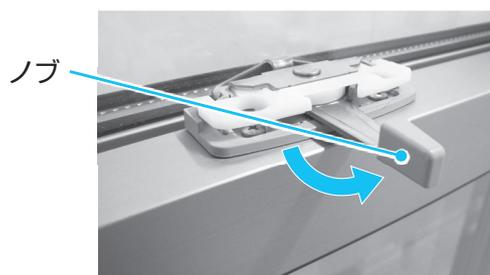
2 カバーを取りはずす

両端の引っ掛かりを片側ずつはずしてカバーを取りはずします。



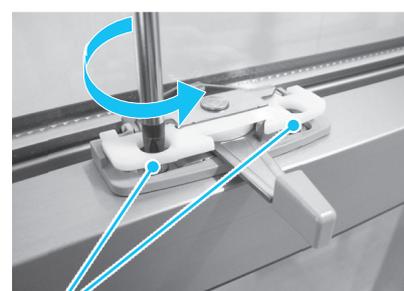
3 クレセントのノブを動かす

取り付けネジが見える位置（中央）までノブを動かします。



4 ネジをゆるめる

プラスドライバーで左右の取り付けネジを反時計回りにまわしてゆるめます。



取り付けネジ

5 クレセントの位置を調整する

クレセントを前後に動かして位置を調整します。

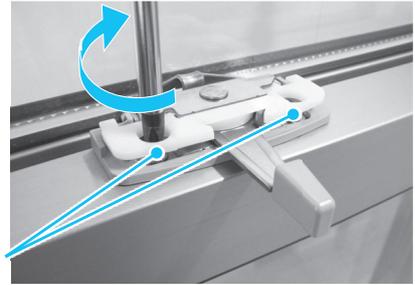
※ノブを動かしながら、かかり具合を確認します。



6 ネジをしめる

取り付けネジを時計回りにまわしてしめます。

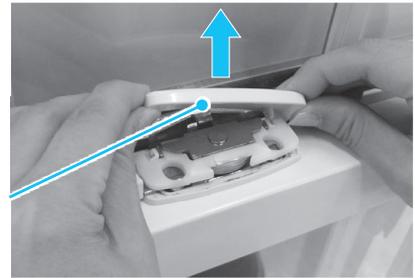
取り付けネジ



7 カバーを取り付ける

両端の掛かりにかかるよう片側ずつカバーを取り付けます。

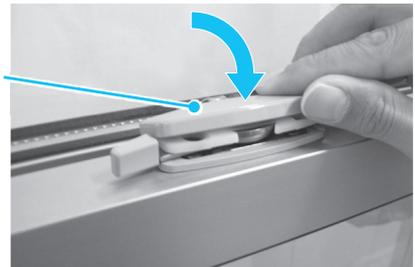
カバー



8 カバーを閉める

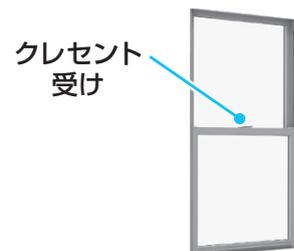
カバーを閉めます。

カバー



クレセント受けの調整方法

クレセントをロックしても窓がガタついたり、ロックしにくくなった時には、クレセント本体とクレセント受けの位置が合っていない可能性があります。ここでは、クレセント受けの位置を上下に調整する方法を説明します。



ご使用前に確認してください

- 必ず、P.5「第1章 安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

1 下窓を内倒しにする

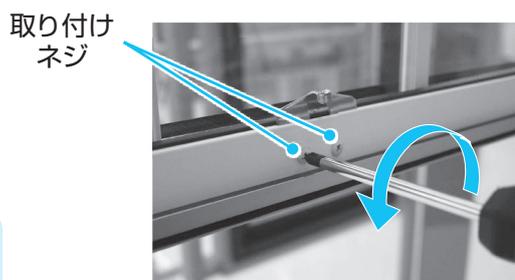
下窓を室内側に倒します。 →P.215「お掃除モードの設定方法」

2 ネジをゆるめる

プラスドライバーで左右の取り付けネジを反時計回りにまわしてゆるめます。

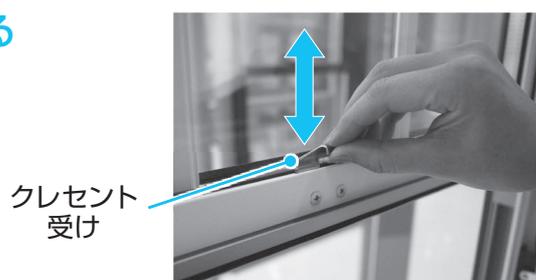
お願い

- ネジは絶対にはずさないでください。窓内部の部品がはずれ、元に戻せなくなるおそれがあります。



3 クレセント受けの位置を調整する

クレセント受けを上下に動かして位置を調整します。



4 ネジをしめる

取り付けネジを時計回りにまわしてしめます。



5 下窓を戻す

下窓を通常の状態に戻します。 →P.216「お掃除モードの解除方法」